2024年9月6日

皆様

一般社団法人北海道被爆者協会

会長　廣　田　凱　則

『伝言と継承　核兵器のない世界をめざして』

(被爆者の証言第５集)　の発行について

　暑い日が続いていますが、皆さまお元気でしょうか。

　すでにご承知のことと存じますが、北海道被爆者協会は来春65年の活動に終止符を打つことを決めました。被爆80年を前に大変心苦しい決定ですが、ひとえに被爆者の高齢化によって組織的な活動が困難になってきたからです(道庁の統計では2024年3月末で北海道の被爆者の平均年齢は86.48歳です)。

しかし被爆者協会解散ですべて活動が終わるわけではありません。引き続き、被爆者・被爆二世・支援者三者によって北海道被爆者連絡センターを立ち上げ、会館見学者への説明(会館は当面存続します)・被爆者相談・追悼会・原爆展・語り部等の活動を可能な範囲で継承します。

　また区切りの年となる来年3月に、北海道被爆者協会は「被爆者の証言第５集」を発行します。過去に4冊の証言集を出していますが、最後の証言集になるものと思います。

すでに核兵器禁止条約が国際法として発効しているにも関わらず、ロシアは核兵器使用の威嚇を繰り返してウクライナを侵攻し、イスラエルは国際法違反のガザ攻撃を続け人道危機を拡大しています。核弾頭数が減少しても「使える核兵器」の開発が進んでいます。唯一の戦争被爆国日本こそ条約を批准し、世界に向かって核兵器の使用禁止と廃絶を訴えるべきです。

私たちが体験させられたあの地獄を繰りかえさせてはなりません。そして私たちの苦難の歩みを後世に伝え残さなければなりません。それが核兵器のない世界を実現する道筋になるのだと思います。

「第5集」は「伝言と継承」をテーマに、次ページのような内容で構成する予定です。被爆者協会の会員である方もそうでない方も、次ページの内容に沿って、ぜひ文章をお寄せください。今まで被爆体験を書いておられない方はこの機会にぜひ書き残して下さい。書くことが困難で聞き取りをご希望の方はご連絡下さい。

原稿締め切りは概ね第一次を10月末日、第二次を11月末日と致します。原稿の長さについては次ページをご覧下さい。

『伝言と継承　核兵器のない世界をめざして』(被爆者の証言第５集)

１．被爆80年に伝えたいこと　　※概ね1000字以内

２．いま語る、あの日の出来事 　※概ね4000字程度(400字×10枚)

３．明日の語り手をめざして　　 ※概ね4000字程度(400字×10枚)

１）家族の被爆体験と二世としての思い

２）様々な取り組み

　　　〇青年の取り組み

　　　〇学生・生徒の感想

　　　〇教育実践

　　　〇地域での取り組み

　３）新しい世代にどう伝えるか

　　　　～絵本『北の里から平和の願い』とDVD『ノーモア・ヒバクシャの願い』

４．北海道被爆者協会の歩んできた道　※概ね4000字程度(400字×10枚)

１）北海道被団協の結成

２）原爆死没者北海道追悼会の歩み

３）原爆症認定集団訴訟を支援して

　４）被爆者国際署名と核兵器禁止条約

５．被爆二世プラスの会の活動　　※概ね4000字程度(400字×10枚)

<要領>

　　9月6日付　案内発送　　　10月末日　第一次原稿〆切

　　　　　　　　　　　　　　　11月末日　第二次原稿〆切

※原稿は原稿用紙に自筆か印刷用紙にプリントか、またはデータでお送り下さい。

　　　顔写真と使用希望の写真・図表等をお送り下さい。

A5版横書き　約300ページ

2025年3月末発行

編集発行　一般社団法人北海道被爆者協会　　印刷製本　北海道機関紙印刷所

原稿送付・問い合わせ先　北海道被爆者協会　担当　北明(きため)・平

　　　　　　事務所　　　　 011-866-9545　[dohidankyo@poppy.ocn.ne.jp](mailto:dohidankyo@poppy.ocn.ne.jp)

　　　　　　北明携帯・メール　090-5959-1613 [kitame@jcom.home.ne.jp](mailto:kitame@jcom.home.ne.jp)